

小児の腫瘍

担当診療科：小児科、小児外科

代表的な対象疾患：脳腫瘍（髄芽腫、中枢神経胚細胞腫、神経膠腫など）、神経芽腫、横紋筋肉腫など軟部肉腫、肝芽腫、腎芽腫、骨肉腫、急性リンパ性白血病、急性骨髄性白血病、骨髄異形成症候群、悪性リンパ腫、慢性骨髄性白血病、ランゲルハンス細胞組織球症、胚細胞腫瘍、その他の悪性固形腫瘍

◇2020年の診療実績（2020年1月1日～12月31日）

疾患名	小児科 新規患者数	小児外科 新規患者数
急性リンパ性白血病	6	0
急性骨髄性白血病	3	0
悪性リンパ腫	2	0
骨髄異形成症候群	0	0
ランゲルハンス細胞組織球症	1	0
その他の組織球症	0	0
Down 症 TAM	0	0
神経芽腫	3	1
腎芽腫	0	0
網膜芽細胞腫	2	0
横紋筋肉腫	2	1
骨肉腫	4	0
脊索腫	0	0
未熟奇形腫（中枢外）	0	0
卵黄囊腫瘍（中枢外）	0	0
Leydig 細胞腫瘍	0	0
中枢神経細胞腫	0	0
退形性上衣腫	0	0
髄芽腫	2	0
Diffuse midline glioma	0	0
神経膠腫	0	0
びまん性星細胞腫	0	0
毛細胞性星細胞腫	0	0
髄膜腫	0	0
胚細胞腫瘍	0	4
転移性肺腫瘍	0	7

◇専門医、認定医、認定看護師等（2021年9月1日現在）

<小児科>

日本小児血液・がん学会 小児血液・がん専門医	6名（うち指導医 5名）
日本血液学会 血液専門医	5名（うち指導医 2名）
日本がん治療認定医機構 がん治療認定医	7名
日本造血・免疫細胞療法学会 造血細胞移植認定医	4名

<小児外科>

日本小児外科学会 小児外科専門医	7名
日本小児血液・がん学会 小児がん認定外科医	3名

◇臨床試験の実施状況（2021年9月1日現在）

神経芽腫、横紋筋肉腫、ユーイング肉腫、肝芽腫、脳腫瘍、急性リンパ性白血病、急性骨髄性白血病、悪性リンパ腫、慢性骨髄性白血病、ランゲルハンス細胞組織球症、血球貧食性リンパ組織球症、若年性骨髄単球性白血病、TAM

◇当院における診療の注目ポイント

<小児科>

1. 小児がん拠点病院として、診断や治療が難しい症例でも最適な治療が行えるよう、小児外科、整形外科、脳神経外科、耳鼻咽喉科、泌尿器科、放射線科、歯科、疼痛・緩和ケア科などとカンファレンスを持ちながら、集学的治療を行っています。
2. とりわけ横紋筋肉腫、神経芽腫、急性リンパ性白血病、ランゲルハンス細胞組織球症においては、全国の共同治療研究で中心的な役割を果たしています。
3. 横紋筋肉腫や、非横紋筋肉腫軟部肉腫の再発予防を目的とした新規薬剤の治験を行っています。

<小児外科>

1. 小児がん拠点病院による充実した診療体制
2. 小児腫瘍外科医、小児腫瘍内科医の密接な連携による治療体制
3. 高難度手術に対応できる関連外科系診療科との治療連携

関連診療科ホームページ 小児科：<http://www.f.kpu-m.ac.jp/k/ped/>

小児外科：<http://pedsurg.kpu-m.ac.jp/index.php>